

■ 建物状況調査の内容

【木造戸建住宅の場合】

調査部位

(木造住宅のうち構造耐力上主要な部分に係る調査)

- ・ 基礎 (立ち上がり部分を含む)
- ・ 土台及び床組
- ・ 床
- ・ 柱及び梁
- ・ 外壁 及び 軒裏
- ・ バルコニー (対象住宅が共同住宅等の場合、バルコニー及び共用廊下)
- ・ 内壁
- ・ 天井
- ・ 小屋組(下屋部分を含む)

(木造住宅のうち雨水の浸入を防止する部分に係る調査)

- ・ 外壁 (開口部を含む)
- ・ 軒裏
- ・ バルコニー (対象住宅が共同住宅等の場合、バルコニー及び共用廊下)
- ・ 内壁
- ・ 天井
- ・ 小屋組
- ・ 屋根

上記部位の劣化事象やひび割れ・欠損、レベル（垂直・水平）等を目視や計測によって調査します（約2～3時間）。

■ 建物状況調査の様子



基礎



土台・床組、基礎



バルコニー



小屋組・梁

■ 検査機器を用いた調査の様子①



クラックスケールによる
基礎のひび割れ幅の計測



ピアノ線によるひび割れ深さの計測



基礎配筋の調査
※劣化事象・有りの場合



リバウンドハンマーを用いたコンクリートの
圧縮強度の測定
※大規模建築物の場合

■ 検査機器を用いた調査の様子②



水平器による柱の傾きの計測



レーザーレベルによる床の傾きの計測



水平器による床の傾きの計測



打診棒によるタイルの浮きの調査